

理学療法の患者／クライアントの権利

ポリシーステートメント

© World Physiotherapy 2019
www.world.physio

理学療法の患者／クライアントの権利

WCPT（世界理学療法連盟）は、以下を支持する。

- 患者／クライアントの尊厳、品性、自己決定を尊重する。
- 医療システムと理学療法士との関係における患者／クライアントの法的立場を守る。
- 理学療法士との間に、信頼、確実性、機密性に基づいた関係を築く患者／クライアントの権利。

理学療法士は、職業を規制する国家の法律、規制、専門的実践基準に従わなければならない。また、人権、平等の機会、人種差別および性差別、プライバシー、情報の自由、職場の事故やケガなどに関する国際宣言や国家の法律に注視しなければならない。

WCPTは、加盟組織に対し、以下の権利を守るよう呼びかける。

患者／クライアントの上質な理学療法サービスを受ける権利

患者／クライアントには、以下の権利が与えられている。

- 患者／クライアントを最優先した、差別のない、道徳に基づいた理学療法サービスを受ける権利
- 外部の介入がなくても独自に臨床的および倫理的判断を下すことのできる理学療法士によるサービスを受ける権利
- 自身の教育や経験に基づいて自由に判断を下すことのできる理学療法士によるサービスを受ける権利
- どの段階であれ、他の理学療法士のセカンドオピニオンを求める権利
- 民間医療、公共医療にかかわらず、理学療法士または医療サービス施設を自由に変更する権利
- 自分で意見を述べるできない場合は、弁護の権利

患者／クライアントの知る権利

患者／クライアントには以下の権利が与えられている。

- 診察／評価や介入／治療の同意を提供または保留する判断を下すための情報を得る権利
- どの段階であっても、診察／評価や介入／治療を拒否する権利。それによって今後、差別を受けることがない。
- 自分自身の診断書に記録されている情報を知る権利
- 実践方針、サービス費用、介入計画、治療における約束ごとやコンプライアンスについて知る権利
- 自分のほかに告知すべき人間が必要な場合、自分でその人を選ぶ権利
- 理学療法による介入／治療の選択肢、利点、リスク、副作用について話し合う権利
- 自身の教育、価値観、文化的および宗教的信条に見合った、それぞれが理解できる情報を受け取る権利
- 苦情処理の手続きについて知る権利
- 苦情を申し出た際に、丁寧な扱いを受ける権利

インフォームドコンセントに関する患者／クライアントの権利

患者／クライアントは、今後受ける理学療法の種類や方法に対して、インフォームドコンセントを了承または拒否する権利を持っている。患者／クライアントは、理学療法の介入／治療に関する判断に加わり、自分の決断が招く結果を把握したうえで、自由に意思決定を行うことができる。（注1）

患者／クライアントは以下の情報を知る必要がある。

-
- 診察／評価又は介入／治療の目的
 - 提案された介入／治療に伴うすべてのリスク
 - 介入／治療に期待される利点
 - 提案された介入／治療にとって代わる合理的な代替案
 - 同意の見合わせが招く結果

患者／クライアントの守秘義務に対する権利

患者／クライアントには、本人の秘密が守られる権利がある。明確な同意を得ている場合や、具体的な法的理由がある場合を除いて、健康状態、診断内容、予後、介入／治療に関する情報、または、患者／クライアントから入手したその他の個人情報 は、すべて保護されなければならない。

患者／クライアントのデータを入手する権利

患者／クライアントは以下の権利が与えられている。

- 理学療法士が管理する、本人に関係するすべての情報を知る権利
- 理学療法データのどこでどのように保管され、取り扱われているかを知る権利
- 不正なデータを修正又は破棄する権利（注2、3）

意思決定のために必要な情報を知る権利

患者／クライアントは以下の情報を知る権利が与えられている。

- 個人の健康、健康促進の手段、アクセスできる医療サービスやその継続性に関するインフォームドチョイスに役立つ情報
- 患者／クライアントのニーズや知識レベルに適した形で説明された理学療法に関する情報

患者／クライアントの尊厳

患者／クライアントは、以下の権利が与えられている。

- 理学療法士から尊厳のある扱いを受ける。
- 礼儀正しい対応を受ける。
- 理学療法サービスを受けている時は、常にプライバシーが守られる。
- 個人の価値観、文化、宗教上の信条が尊重される。
- 人間らしい緩和ケアや終末期ケアを受ける。
- 尊厳のある死を迎える。

Glossary (<https://world.physio/resources/glossary>)

Equity

Informed consent

Standards of practice

Approval, review and related policy information	
Date adopted:	Originally approved at the 15th General Meeting of WCPT June 2003. Revised to incorporate the Declaration of Principle: Rights of the client (1995) and approved at the 16th General Meeting of WCPT June 2007. Revised and re-approved at the 17th General Meeting of WCPT June 2011. Revised and re-approved at the 18th General Meeting of WCPT May 2015. Revised and re-approved at the 19th General Meeting of WCPT May 2019.
Date for review:	2023
Related WCPT policies:	<p>WCPT ethical principles</p> <p>WCPT policy statements:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Ethical responsibilities of physical therapists and WCPT members • Standards of physical therapy practice • Quality services • Informed consent • Records management: record keeping, storage, retrieval and disposal <p>WCPT guidelines:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Guideline for standards of physical therapy practice • Guideline for records management: record keeping, storage, retrieval and disposal <p>WCPT endorsements:</p> <ul style="list-style-type: none"> • The United Nations Convention on the Rights of the Child • The United Nations Standard Rules on the Equalisation of Opportunities for Persons with Disabilities

References

1. World Confederation for Physical Therapy. Policy statement: Informed consent. London, UK: WCPT; 2019. www.wcpt.org/policy/ps-consent (Access date 5 September 2019)
2. World Confederation for Physical Therapy. WCPT guideline for records management: record keeping, storage, retrieval and disposal. London, UK: WCPT; 2011. www.wcpt.org/guidelines/records-management (Access date 22 September 2011)
3. World Confederation for Physical Therapy. Policy statement: Records management: record keeping, storage, retrieval and disposal. London, UK: WCPT; 2019. www.wcpt.org/policy/ps-records-management (Access date 3 September 2019)

© World Confederation for Physical Therapy 2019